

かりわぎ

vol.

49

CONTENTS

消化器内科 主任教授 就任挨拶	2
泌尿器科 科長 就任挨拶	2
人事異動のお知らせ	2
ロボット支援子宮頸がん手術の先進医療承認について	3
遺伝子診療センターのご案内	3
名称変更のお知らせ	3
患者申出療養制度について	4
敷地内駐車場の閉鎖について	4
東京医科大学病院 市民公開講座 予定一覧	4

東京医科大学病院の理念と基本方針

理 念

人間愛に基づいて、患者さんとともに歩む良質な医療を実践します。

基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します。

1. 患者さんと信頼関係を築き、安心して開かれた医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して良質で高度な医療を提供します。
3. 人間性豊かで人類の福祉と幸せの実現に貢献できる医療人を育成します。



就任挨拶

消化器内科 科長



いとう たかお
糸井 隆夫

この度、平成 28 年 7 月 1 日付で消化器内科学分野主任教授に就任させていただきました。当科ではこれまで、肝臓、消化管、胆膵の全ての消化管領域において各分野のエキスパートによる高度でかつ患者さんの立場に立った医療を提供してまいりました。特に私の専門分野である胆膵疾患に関しては、良悪性を問わず、正確な診断はもとより、内視鏡治療、高密度焦点式超音波治療法 (HIFU: ハイフ)、不可逆電気穿孔法 (Nano-knife: ナノナイフ) といった最新の低侵襲治療を行ってきました。今後も教室員一同、病診連携、医療安全を大切にし、地域の皆様方に安心、満足して頂ける患者さんに優しい医療を提供できるように引き続き力を注いでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科 科長



おおの よしお
大野 芳正

この度、平成 28 年 4 月 1 日付けで泌尿器科学分野の診療科長に就任させていただきました。私はこれまで 26 年間本学泌尿器科診療に従事してまいりました。その間腎臓がんに対する腎部分切除術、浸潤性膀胱がんに対する自然排尿型新膀胱造設術などの機能温存手術や、ロボット支援内視鏡手術などの低侵襲手術に積極的に取り組んでまいりました。現在、当科では前立腺がん、膀胱がん、腎臓がんなどの悪性腫瘍から前立腺肥大症、尿路結石症などの良性疾患まで様々な疾患を取り扱っております。特に前立腺がんに対するロボット支援前立腺摘除術には我が国でいち早く取り組み、当該手術に関しては国内随一の実績を誇っております。医局員とともに患者さんに満足していただけるチーム医療の提供を目指しております。また地域の先生方とも積極的に連携を図りたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

人事異動のお知らせ

平成 28 年 3 月 31 日付けで 2 名の科長が退任いたしました。

- 消化器内科 科長 森安 史典
- 泌尿器科 科長 橘 政昭

このたび、当科より申請をしておりました“内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術”が本年4月1日付で先進医療Bとして承認されました。これは、婦人科領域におけるロボット手術では初めての承認となります。適応は、子宮頸がん（FIGOによる臨床進行期分類がI B期以上及びII B期以下の扁平上皮がん又はFIGO臨床進行期分類がI A2期以上及びII B期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。）です。ロボットを用いた広汎子宮全摘術においては、従来の開腹術に比べ出血量は平均100ml以下（10分の1）、入院日数が平均6日（3分の1）、術後の排尿障害も減少するなど多くの利点を持っており、患者さんにとって非常に優しい手術と考えております。また、従来の腹腔鏡手術に比べ学習曲線が短く、深く狭い場所での操作性に優れていることから、骨盤腔における手術が多い婦人科や泌尿器科の手術に適していると言われております。しかし、本邦におけるこれまでの婦人科ロボット手術は、病院負担の臨床研究あるいは自費診療であったため、なかなか一般には普及し難かったのが現状です。今後は症例を重ね保険収載を目指しておりますので、本先進医療をご希望の患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。



遺伝子診療センターのご案内

小児科 科長 河島 尚志



当センターは、様々な診療科に所属する臨床遺伝専門医（12名）の協力を得て、多岐にわたる遺伝性疾患の遺伝カウンセリングが可能となっております。主な取扱い疾患には、染色体異常症・先天奇形症候群・先天性難聴・肥大/拡張型心筋症・神経筋疾患などがあります。

遺伝カウンセリングでは、「遺伝学的検査による確定診断を行いたい」という相談以外に、「家族が遺伝性疾患をもっているが、自分や子どもたちにも遺伝するのか」・「突然子どもが遺伝性疾患と診断され、理由が分からず不安」・「高年妊娠による胎児への影響が心配」・「診断がつかない」などの相談があります。当センターは、このような遺伝や疾患に関する悩みや不安に対し、専門の医師による医学的な情報提供と心理社会的支援を行っています。

遺伝カウンセリングは主に自費診療（初回60分 ¥12,000）ですが、一部は保険適用となっております。また、当センターの受診は完全予約制のため、予約は電話にて承ります。どうぞお気軽にお問い合わせください。

名称変更のお知らせ

2016年7月1日より、現在の耳鼻咽喉科の名称が変わりました。
今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

耳鼻咽喉科



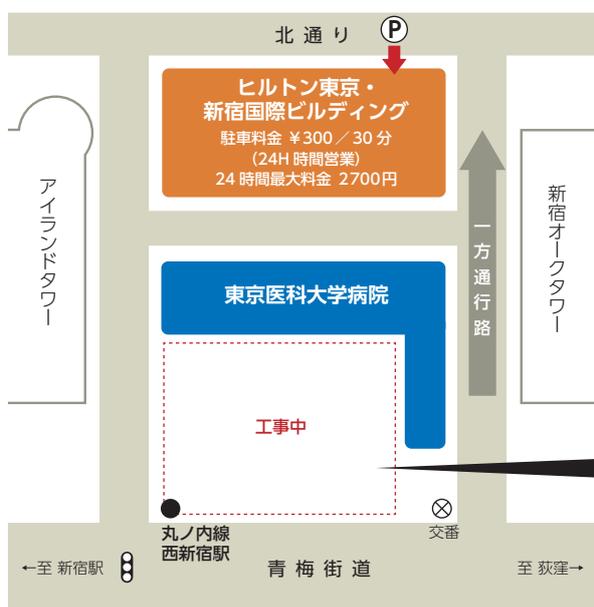
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

「患者申出療養制度」について（臨床研究支援センター）

平成 28 年 4 月 1 日から開始された「患者申出療養制度」は、保険診療のない先進的な医療について患者さんからの申出を起点とし、安全性・有効性等を確認しつつ、医療機関で受けられるようにするための制度です。保険適用されていない薬や医療機器にかかわる費用および臨床研究実施にかかる費用が自己負担となるため、高額となる可能性があり、また様々な申請等を行う必要があるため、準備には長期の時間がかかります。まずは、希望される医療が制度の対象となるか確認する必要がありますので、「臨床研究支援センター」にご連絡ください。

お問合せ先 **東京医科大学病院 臨床研究支援センター**
(TEL) 03-3342-6111 (代) 内線 (3820、3803)

敷地内駐車場の閉鎖について

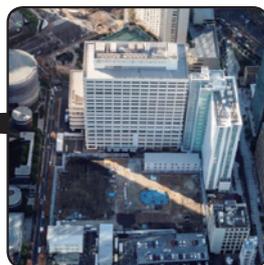


駐車場・駐輪場ご利用の皆さまへ

東京医科大学病院では新病院建設工事に伴い、平成 27 年 12 月 29 日をもちまして駐車場を閉鎖いたしました。また、駐輪スペースも著しく減少しております。

ご来院の際は公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。お車でご来院の際は、近隣施設の駐車場等をご利用ください。

※当院による駐車料金割引制度はございませんのでご了承ください。(駐車料金等は平成 28 年 1 月現在のものです)



ご来院の皆さまには、長期間に渡りご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016 年（平成 28 年）東京医科大学病院 市民公開講座

- 通常は 17：00 開場 17：30 開演 18：30 終了予定（質疑応答 10 分含む）
- 二部制の場合は 16：30 開場 17：00 開演 18：40 頃終了予定（質疑応答 10 分含む）
（第一部 17：00～ 第二部 17：45 頃～ 各 45 分目安）

開催月日	科	講師	講演テーマ
★がん征圧月間 9 月 29 日 (木)	乳腺科	石川 孝 主任教授 細永 真理 講師 河合 佑子 助教	乳がんの最新情報 ～乳房再建 失った乳房をとりもどす方法～ ①乳がん検診 ②乳がんの手術 ③乳がんの薬物療法 ④乳房再建
	形成外科	小宮 貴子 講師	
10 月 27 日 (木)	心臓血管外科	松原 忍 助教 西部 俊哉 教授	第一部： 講演 1 「足のむくみと血管の病気」 講演 2 「切らずに治す！ 足の血管病」
	皮膚科	梅林 芳弘 教授	第二部：冬の皮膚病
11 月 28 日 (月)	医療の質・安全管理学	三木 保 主任教授	医療安全について (仮)
12 月 16 日 (金)	呼吸器外科・甲状腺外科	大平 達夫 教授	肺がん最新情報 (仮)

* 講師及び講演テーマにつきましては変更される事もございますので予めご了承ください。

東京医科大学病院 総合相談・支援センター 東京都新宿区西新宿 6 丁目 7 番 1 号 TEL 03-3342-6111 (代表)
http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/ 発行責任者 羽生 春夫

UD FONT より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。